# 因数分解「たすきがけ」を早く簡単にする裏ワザの方法を解説 

## 教科書では教えてくれない「たすき掛け」の裏ワザとは？

では早速，「たすき掛け」で解く因数分解の問題を，裏ワザを使って解いてみるよ。

## 例題

$2 x^{2}-5 x y-3 y 2$ を因数分解せよ

## 【その।】

まずは「3つのポイント」を使って，「3つの手がかり」をみつけよう！
今回注目するのは3つのポイント。

「たすき掛け」の公式
$a c x^{2}+(a d+b c) x+b d=(a x+b)(c x+d)$
と問題を照らし合わせると，
ポイント（1）
$\mathrm{ac}=2$ なんだから，
aとcをかけると「2」になる。
$\rightarrow$ この「2」は，手がかり 1 1 になるよ！
ポイント（2）
bd＝－3y2なんだから，
bとdをかけると「－3y2」になる
$\rightarrow$ この「－3y 2 」が，手がかり（2）になるよ！

ここまでは，普通に「たすき掛け」で解く時と同じだね。
ここからが新しいポイント。

## ポイント（3）

- 和が×の係数と同じ数字になって，
- 積が $\times 2$ の係数と，定数項をかけたものと同じ数字になる

2 つの数字を探すんだ。
この問題の $\times$ の係数は「－5 y 」だよね。
$x^{2}$ の係数と，定数項をかけたものは・•
「2」×「－3y2」で，「－6y2」。
つまり，和が「－5y」で積が「－6y2」になる 2 つの数字を探すんだ。

和が「－5y」で，
積が「－6y2」になる2つの数字だから，
「－6y」と「y」しかないね。
この「－6y」と「y」は，手がかり③になるよ！


手がかり目の求め方
「和」が「－5y」で，
「積」が「一6y年」になる2つの数字を探す。

$$
\text { *- } 6 y+y=-5 y
$$

$$
\star-6 y \times y=-6 y^{2} \text { 手がかり(3) }
$$

これで手がかりが 3 つそろって，4つの数字「2」「－3y2」「－6y」「y」が見つかったね。

## 4 つの数字を表に配置する

こうやって見つけた 4 つの数字を，下のような表の（1），（2），（3）にそれぞれ配置するよ。

## 

|  |  | $\begin{gathered} \text { 手がかり (3) } \\ \hline-6 y \end{gathered}$ |
| :---: | :---: | :---: |
|  |  | 手がかり(3) |
| 手がかり11 | 手がかり（2） $-3 y^{2}$ |  |

##  <br> 409数子を探すべい！



この表にはそれぞれ下の図の関係で
4 つの答えの数字が当てはまる んだ。

普通のたすき掛けと決定的に違うところは，
「－6y」と「y」というように，右側部分の手がかりの答えももう分かってしまっているとこ ろ。
だから，考えられる答えの数字の組み合わせは1通りしかないんだ。

だから何度も候補を入れ替えたりする必要もなく，いっぺんに数字が揃うんだね。

## 関係を満たす 4 つの答えの数字をみつける

## 4つの数字がそのまま答えになっているよ！



この関係を全て満たす数字の組み合わせは
下のとおり।つしかないよ。

これであっという間に
$\mathrm{a}=1$
$b=-3 y$
$c=2$
$d=y$
という 4 つの答えの数字が揃ったね！

答え：$(x-3 y)(2 x+y)$

## 因数分解「たすき掛けの裏ワザ」

## たすきがけを早くするコツまとめ

－裏ワザを使うと，たすき掛けを何度もしなくてもいつぺんに答えの4つの答えの数字が見つけられる。

- 手順その（1）3つのポイントから，4つの数字をみつける。
- 手順その（2）4つの数字を表にする。
- 手順その（3）表の中の関係が全て満たされる4つの答えの数字をみつける。

